

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
3	公共用施設に係る整備、維持保守又は維持運営等措置	日田市環境衛生センター再資源化設備(発酵槽)更新事業(第2期)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		日田市		
交付金事業実施場所		日田市大字友田651番地		
交付金事業の概要		<p>日田市環境衛生センターでは、日常生活に伴って発生するし尿や浄化槽汚泥を処理しており、処理工程で発生する汚泥は、発酵処理を行い堆肥化(肥料)して市民に販売している。</p> <p>センター設備のうち汚泥等を再資源化するための発酵槽が老朽化していたことから、腐食の著しい発酵槽の主軸及び回転羽根を更新するために交付金を充当する。</p> <p>＜発酵槽内部の主軸及び旋回羽根の更新 一式＞</p>		
総事業費		23,760,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	22,800,000 0 22,800,000
交付金事業の成果目標		再資源化設備を適切に管理し、安定した汚泥処理を進めるとともに、管理作業にかかる負担の軽減を図る。また、再資源化による生産物である肥料の生産量を確保し、市民に安価な肥料として提供する。これらの取組により、地域住民の福祉の向上を図る。		
交付金事業の成果指標		販売量 平成25～27年度の平均実績 8,906袋/年 → 平成28年度 年間9,000袋/年		
交付金事業の成果及び評価		平成28年度の販売量 9,126袋 平成29年1月に実施した肥料購入者へのアンケートでは、肥料として作物への効果があるとする回答が85%を超えているほか、今後も販売を続けてほしいとする回答が97%を超えるなど好評を得ている。また、設備の運転も順調に管理できている。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方
再資源化設備(発酵槽)更新		随意契約		浅野環境ソリューション(株)九州支店
				契約金額
		計		23,760,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無		
		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		
		該当なし		

(備考)(1)事業ごとに作成すること。

(2)番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3)交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4)交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5)交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6)交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7)成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載